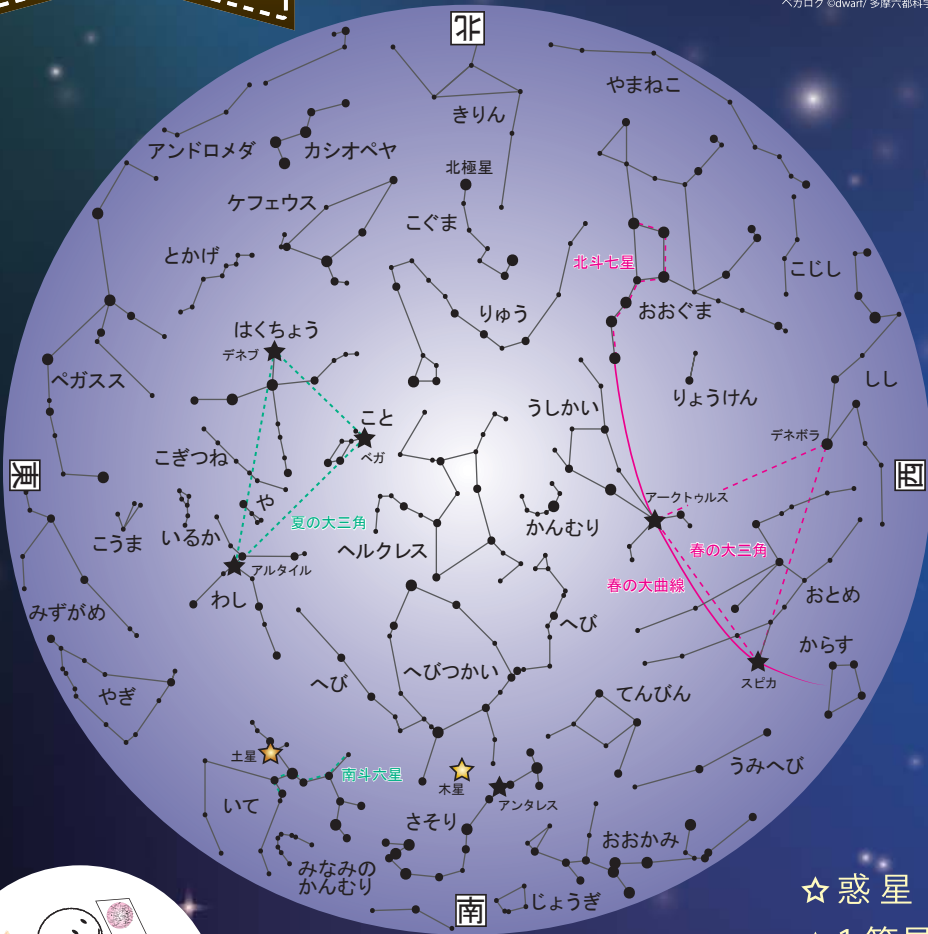


7月の星空

上旬：22 時頃
中旬：21 時頃
下旬：20 時頃



ペガロク ©dwarf/ 多摩六都科学館



星座案内のつかいかた

星座盤は空にかざして方位を合わせて見てください。
(空と重ねると東西の向きが正しくなります)

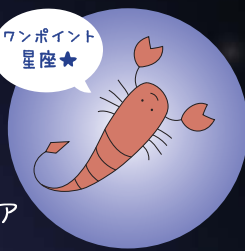
2019年 7月のおもな天文現象

- 7/3 新月 (南米では皆既日食、日本では見られない。)
- 7/9 上弦
- 7/10 土星が衝 ※土星が地球から見て太陽の正反対の方向にくること
- 7/13 月と木星が並ぶ
- 7/16 月と土星が並ぶ
- 7/17 満月
部分月食 (九州・沖縄地方で見られる。東京では見られない。)
- 7/25 下弦

さそり座

赤くかがやくアンタレスは、
まちなか
明るい1等星。街中でも見
つけやすい星です。今年はア
ンタレスの近くにとても明るい木星、
その東側には土星がかがやきます。
しっぽの並びが釣り針の形に見えることから、海沿い
の地域では、「魚釣り星」とも呼ばれています。

ワンポイント
星座★



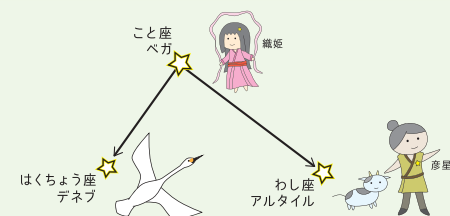
七夕にまつわる Q & A

- Q. 『伝統的七夕』はどう決まる？
- A. 「処暑」以前の新月の日から数えて
二十四節気のひとつ 7日目となる日
2019 年は 8 月 23 日

1回 2019 年は 8 月 1 日 新月
7回 2019 年は 8 月 7 日
参考：国立天文台

Q. 七夕の星はどう見分ける？

A. 夏の大三角の中で一番明るい星が織姫星。
空で織姫星に近い位置に見える星がデネブ、
遠い位置に見える星が彦星です。



七夕の星はどこに？

こと座のベガは織姫星、わし座のアルタイルは彦星と呼ばれる七夕の星です。この
2 つの 1 等星に、はくちょう座のデネブを加えた 3 つの星をむすんで作る大きな三
角形が『夏の大三角』です。一つ一つはどれも明るいので探しやすい星ではありま
すが、三角形を結ぼうとするとお互いがかなり離れているような印象を受けるかも
しれません。

夏の大三角は、毎年7月7日前後の宵には東の空に見えています。南の空高くにやっ
てくるのは 8 月に訪れる『伝統的七夕』の頃。さらに、夏が過ぎた後も 12 月末ま
で楽しめます。季節を越えて、視界に大きく広がる三角形を見つけてみましょう。